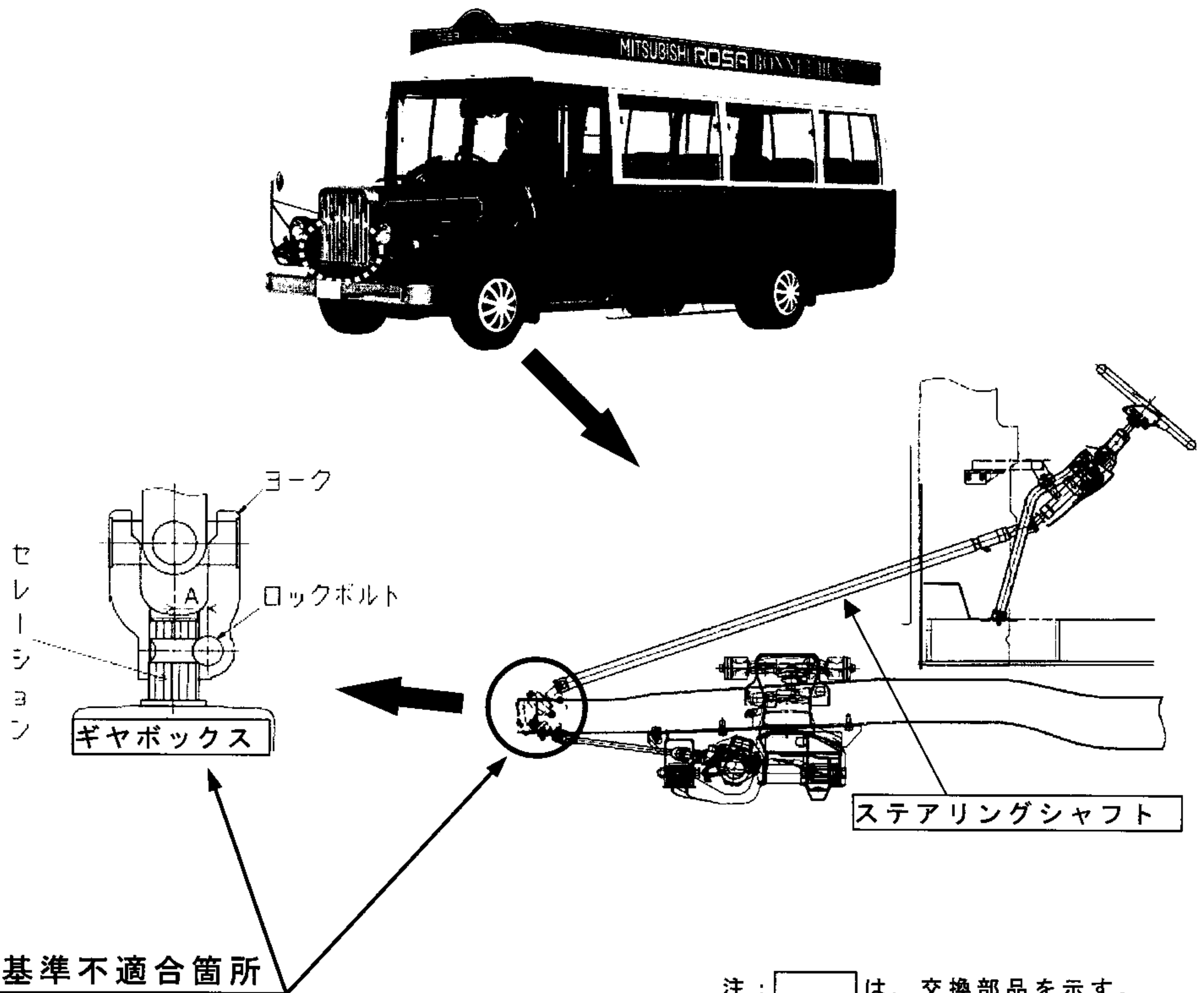


改善箇所説明図



ステアリングシャフトとギヤボックスの継手の嵌合部(セレーション)の組合せが不適切である。

このため、そのままの状態で使用を続けると当該セレーション部が摩耗し、最悪の場合、噛み合い不足となり操舵不能となるおそれがある。

(改善処置内容)

全車両、ステアリングシャフトを対策品に交換すると同時に、ギヤボックスを新品に交換する。

対策品の供給に時間を要することから、当面の暫定措置として、当該部のセレーションにロックタイトを塗布の上、ロックボルトの締め付けを確実にを行い、後日、ステアリングシャフトおよびギヤボックスの交換を実施する。

識別：作業完了車には、アクセルペダル右部側面に、φ15の青色シールを貼付ける。